

つながる すみだ人

私の好きな すみだ

今月の1枚
「お化粧直した防災団地の
シンボル“^{まとい}纏”とスカイツリー」
【撮影】佐藤八郎さん

本コーナーへの写真を随時募集しています。詳細は、今号2面をご覧ください。



角田妙子さん(立川在住)

今号から毎月1日号に、すみだを愛し、すみだで活躍する人をリレー形式でご紹介する「つながる すみだ人」を掲載します。インタビューを受けていただいた方に、次の方を紹介していただくことで、すみだを愛する人をつないでいきます。

第1回目を飾るのは、立川在住の角田妙子さん。地域のために多方面で活動している、“すみだ愛”にあふれたスーパーウーマンです。

Q. すみだでどのような活動をしていますか？

「子どもたちのために地域をよくしたい」との思いから、地元の中学校地区の青少年育成委員会や、児童館と連携してイベントを盛り上げる「ひまわり会」のほか、自分の特技を活かして、地元の小学校で6年生を対象とした“ちぎり絵教室”等の活動をしています。真剣に取り組み、個性豊かな作品を作り上げる子どもたちとの触れ合いは、とても楽しいですよ。また、「立一ふれあい委員会」

として、地域の高齢者を対象とした見守りや文化・体操活動を行っていて、制作したちぎり絵等の作品を町会会館に展示しています。また、東京マラソンでの応援も積極的に行っています。この応援は、ランナーへ声援を送るだけでなく、応援に来た方もサポートするユニークなものなんです。

公の職としては、行政相談委員を14年間務めています。

Q. 地域での活動を始めたきっかけは何ですか？

最初は、娘が通っていた小学校のPTAでした。昭和57年に墨田区に転入してきて地域に溶け込む際、“壁”みたいなものを感じたんです。誰かの紹介がないと人脈を築きにくいなと。そこで、自分から地域に飛び込んでいこうとPTAに加わり、積極的に活動しました。これがきっかけとなって

たくさんの人と知り合い、「何でもいいから相談してね」と、ちょっとでも困っているとすぐに助けてくれるようになりました。今では、自分自身がすみだの地に根付き、すっかりおせっかいをやっています。

Q. すみだのどんなところが好きですか？

何と言っても人が優しいところです。一度地域に溶け込んでしまえば、新しい提案をした時など、すぐく親身になって応援してくれます。今では、私の自宅が“寄り合い所”のようになっていて、皆で色々な相談や雑談をするのが楽しみなんです。

私が暮らす地域では、学校が人と人とのつながりの“核”になっているように思います。自分の子どもや孫が通学しているわけでもないのに「学校

のためなら一肌脱ごう」と言ってくれる人が大勢いるんです。学校に関する活動を続けてきて、それにより地域への愛着がとて深まりました。地元の中学校地区の青少年育成委員会には30年以上携わっていて、娘からは「お母さん、まだ卒業できないの?」と言われていますが、学校のため、そして子どものために、もっともっと頑張りたいと思っています。



「第10回ふれあい作品展」ちぎり絵作品(一部)

次回登場してくださるのは・・・

角田さんのオアシスとなっているギャラリーを営む磯貝延子さんです。
【問合せ】広報広聴担当 公5608 - 6223



夢

安全で快適な駅前環境を

墨田区長

山本亨

今年は東京で民生委員制度が始まって、100周年にあたります。委員の方々の活動を多くの皆さんに知っていただきたいとの思いから、5月12日の「民生委員・児童委員の日」の前日に“一日民生委員・児童委員”としてPR等のお手伝いをさせていただきました。

今回の体験を通して、区の様々な福祉サービスが委員の方々の熱心な活動に支えられていることを強く実感いたしました。改めて委員の皆様には敬意を表し感謝を申し上げます。

さて、自転車に関連する事故が交通事故全体の約3割を占める中、安全・安心なまちづくりを進める上で放置自転車対策は大きな課題のひとつとなっています。区では、これまで自転車駐車場の利用を促す啓発活動や放置

自転車撤去の徹底、1時間単位で利用できる自転車駐車場の設置拡大などに力を入れてきました。その結果、東京都が実施した都内各駅周辺の調査における錦糸町駅の放置自転車台数は、平成28年度に437台(ワースト3位)だったものが、29年度には214台と大幅に減少しました。また、区内の交通事故全体の件数も、29年は前年の28年に比べて18件減少し536件となり、5年前の24年と比較すると444件減少しています。

安全・安心なまちづくりを進めている中で、放置自転車や交通事故が減少していることは大変喜ばしく、全ての関係者の皆様、そしてルールやマナーを守っていただいている区民の皆様に深く感謝を申し上げます。

今後も、誰もが安心して便利に暮らせるよう、快適な駅前環境の整備をはじめ様々な取組を進めていきますので、引き続き皆様のご理解・ご協力をお願いします。



“一日民生委員・児童委員”として、区役所でPR活動のお手伝いをしました。